

# 進化と継承

福井県議会議員

## 笹原修之 NEWS



みなさまの声を  
県政に届けます

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと喜び申し上げます。また、日頃より県議会活動にご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、不安定な世界情勢や円安による物価高騰、歴史的な猛暑など、商工業や農林水産業に大きな影響を与えた2023年でしたが、2024年は北陸新幹線福井・敦賀開業という、福井県にとって歴史的な一年の幕開けとなります。また、デジタル地域通貨「ふくいはいびコイン」による地域活性化や、脱炭素社会に向けた太陽光・風力・木質バイオマスといった再生可能エネルギーなど、まさに時代の転換期であります。そのような中でもあわら市の皆様の安心安全で豊かな生活を守るために、山積する地域の課題解決に向けて皆様の声を県政に届けてまいります。

本年も、あわら市の明るい未来と「福井新・時代」に向けて、皆様と共に全力を尽くしてまいりますので、今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

12月県議会で議論された会派代表質問の内容をお届けします。(抜粋)

### 新幹線整備とまちづくりについて

Q. 持続可能な地域の実現について、知事はどのような青写真を描いているのか、その実現に向け北陸新幹線金沢・敦賀間開業を契機としてどのように地域活性化やまちづくりに取り組んでいくのか、所見を伺います。

#### A 知事

これまでも恐竜博物館や一乗谷朝倉氏遺跡、三方五湖などの観光地の磨き上げや整備を進めてきたが、開業後は多目的アリーナやオーベルジュといった新しい施設の整備、六呂師高原やあわら温泉街、敦賀金ヶ崎などの観光地のリニューアル、越前たけふ駅には研究開発の拠点を考えています。首都圏との間で観光客もビジネス客も2倍程度になると言われているので、県民のチャレンジを促し、さらには県内外からの投資も呼び込みたいと考えています。

### デジタル地域通貨について

Q. 県のデジタル地域通貨「ふくいはいびコイン」は、地域経済の活性化や地域活動の参加促進、行政による給付金支給の迅速化・経費削減などが目的ですが、今後の展開を伺うとともに、費用対効果やデジタルデバйд(情報格差)対策についてどのように考えているのか、知事の見解を伺います。

#### A 知事

はいびコインは県内で3300店舗に加盟をいただいております。プレミアム付き地域商品券や子育て支援給付金などの行政事務の効率化や、ボランティア活動・健康増進など県民の行動変容など、経済だけではなく地域の活性にも結びついていくと考えています。デジタルに不慣れな方に対しては、コールセンターやスマホ教室で丁寧に手厚いサポートをさせていただき、先進モデルとしてしっかり進めていきます。

### 福井県産米について

Q. コシヒカリの1等米比率は県内平均84.1%であるが、本年の福井県産米の品質についての県の評価を伺うとともに、収入の減少も懸念される米生産者への支援の方針について、所見を伺います。

#### A 農林水産部長

本県産のコシヒカリの品質は、猛暑による2等以下への格落ちがあるものの、新潟や北陸の中では最も高い約80%であり、生産者の努力の成果が現れております。また、作況指数は98と収量は減少しましたが、JAの概算金は昨年より1キロ当たり1,500円高くなっております。生産者への支援につきましては、水管理のための機械装置の導入支援など、異常気象に備えた生産体制の強化を進めてまいります。

Q. コシヒカリの相対取引価格は昨年に比べ11%上昇、ハナエチゼンは20%上昇したが、県は本年度の米の取引価格をどのように評価しているのか、また、米の流通・取引価格が見える「みらい米市場」に関する新たな動きをどう受け止め対応していくのか、所見を伺います。

#### A 農林水産部長

令和5年産米は、外食の需要回復や全国的な米在庫の減少により、JAと卸業者間の相対取引価格が上昇し、肥料などの生産コストが高止まりする中で、明るい材料と評価しております。現在、国内の米流通780万トンの約6割は卸業者等による相対取引です。新たな米取引の場として開設された「みらい米市場」はまだ日が浅く、取引は少ない段階ですが、今後期待しているところでございます。

## 大阪・関西万博における 福井県独自展示スペースの検討状況について

Q. 大阪・関西万博は国内外から2820万人の来場者を見込み、経済効果は2兆円試算されていますが、福井県独自展示スペースの進捗状況と、県内への観光誘客促進のための戦略について、知事の所見を伺います。

### A 知事

福井県に魅力を感じていただき印象に残す、展示終了後も使っていけるような工夫、そして今回の万博の効果をできるだけ福井県の観光にも活かしていきます。そして、大阪から福井を初めとした北陸、それから東京に至るレインボールートを活かして、全国から万博に来たお客様を迎え入れます。

また、来年7月にオープンするKITTE大阪からも多くのお客様を迎え入れるといった仕掛けづくりも考えています。

## 脱炭素化の取り組みについて

Q. 2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、これまでの議論の概要及び今後の運営方針について、知事の所見を伺います。

### A 知事

家庭部門においては、脱炭素型のライフスタイルに転換していく。運輸部門においては、次世代自動車への転換や公共交通機関の利用拡大やモーダルシフトの促進。産業分野においては、エネルギー源の転換や省エネの促進といった方針を決定したところです。

県としては、企業の実務担当者を集めたワークショップや先進事例の情報共有も行い、見える化することで企業や県民一人一人が脱炭素化を自分事として捉えていただき、意識変革や行動・習慣の見直しに結びつけたいと考えています。

## あわら市沖の洋上風力発電の推進について

Q. 有望区域の選定を目指しているあわら市沖における洋上風力発電について、事業が進まない問題点をどのように認識しているのか、また、有望区域の選定に向け、県が主体的に課題解決に取り組むべきと考えるが、中村副知事の所見を伺います。

### A 中村副知事

あわら市沖の洋上風力発電事業につきましては、近隣自治体を含む利害関係者の理解が得られていないということが、有望区域に選定されない課題と認識しています。

このため、県では利害関係者の理解促進を図るため、まずは12月15日に国の参加も得て、あわら市沖付近で操業している漁業関係者との意見交換会を実施し、経済や観光などの関係者との意見交換会も順次開催し、あわら市沖の計画に対する理解醸成を進めていきたいと考えています。

## 11月 秋田県 陸上・洋上風力発電を視察



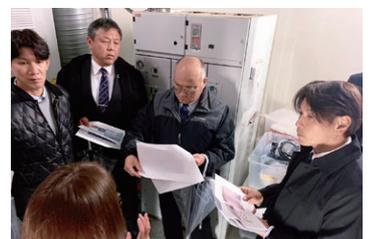
秋田洋上風力発電の展示場



秋田港の洋上風力発電



能代港の洋上風力発電



三種町の陸上風力発電

## 若者の公務員・教員離れについて

Q. 行政職の受験倍率は過去最低の2.1倍まで低下、教員についても2.75倍と教員の質の低下が懸念されるが、採用方法や処遇等についてどのように分析しているのか何うととも、現場の声を踏まえた具体的な改善策を国に提案していくべきだと考えますが、知事と教育長の所見を伺います。

### A 知事

民間との併願がしやすいように4月に試験を行い、行政職の倍率は2.8倍まで上がってきています。また、本県の実情も踏まえて有識者会議で発言しており、今後は受験機会の拡大や働き方改革なども進め、優秀な人材の確保に努めたいと考えています。

### A 教育長

志願者確保のために、東京会場の設置や講師5年経験者に対する第一次選考全部免除制度の導入など、採用方法を検討してきました。次年度以降も、奨学金返還免除制度など新たな志願者層の掘り起こしのための検討を進めていきます。また、国の中央教育審議会の動向を注視しながら、引き続き要望してまいります。

## 感染症対策について

Q. 本年度改定予定の医療計画において、新たに追加された新興感染症対策について、どのような内容を盛り込み、どのように医療体制の構築を進めていくのか、知事の所見を伺います。

### A 知事

新興感染症対策として、まず最大400床の病床を確保し、350の医療機関に発熱外来の設置をしていただく。その上で60の医療機関に施設入所や在宅療養の往診をしていただく。さらには190の薬局に薬の配送や服薬の指導をお願いしていこうと考えています。

こうした計画を実効的にするため、事前の段階で医療機関、薬局との間で協定を結ばせていただくことで、今後の新興感染症に備えていきたいと考えています。

## 除雪対策について

Q. 今年の冬に備えた県の除雪体制について、改めてどのような体制で臨むのか何うととも、除雪状況の見える化などの取組について、随時検証し改善していくことが必要であると考えますが、所見を伺います。

### A 土木部長

県では、国や高速道路会社とともに、除雪機械の増強や道路状況確認カメラの増設、大雪時における広域迂回や出控えの広報を強化しており、石川県境での合同訓練で関係機関との連携強化を図っております。

また、除雪状況の見える化につきましては、除雪や路面状況などの情報を密に「みち情報ネットふくい」で一元的に公開しており、引き続き利便性の向上を進めてまいります。

## クマへの対応と鳥獣害対策について

Q. 今年はクマが大量出没しており、生息域は約1.4倍に拡大し、個体数は約3倍の4万4千頭に増えております。捕獲の実績を伺うとともに、捕獲上限など計画の見直しを検討する必要があると考えますが、所見を伺います。

### A エネルギー環境部長

現行のクマに関する第一種特定鳥獣保護計画では、年間の捕獲上限数を156頭としています。今年度の有害捕獲数は117頭で、昨年度から40頭増加しております。現行の特定鳥獣保護計画は、特定鳥獣管理計画へ改定することを検討してまいります。

Q. クマによる人身被害が増加している道県と協力・連携し、早期にイノシシなどと同様に指定管理鳥獣に指定するよう国に求め、必要に応じて財政支援を求めていくべきと考えますが、知事の所見を伺います。

### A 知事

国の財政支援をいただきながらクマの捕獲を行っていくためには、まずは国がクマを指定管理鳥獣に指定し、その上で福井県として特定鳥獣管理計画を作り、その中にクマを位置づけていきます。本県といたしましても、必要に応じて全国知事会に要請の働きかけをしていき、環境省の状況を見ながら特定鳥獣管理計画のほうに改定をしていくよう検討を進めてまいりたいと考えております。

## 福井県都市計画区域マスタープランについて

Q. 高速交通網の整備による交流圏拡大、人口減少、自然災害など、社会情勢が変化中、20年後の都市の将来像の実現に向けた「福井県都市計画区域マスタープラン」の改定に向けて、今後の福井県の未来をどのように認識し、プランに反映していくのか、所見を伺います。

### A 土木部長

人口減少や超高齢社会など、社会情勢の変化を踏まえ、持続可能でコンパクトな都市づくり、高速交通を生かす都市づくり、個性と魅力あふれる都市づくり、安心・安全に住み続けられる都市づくりの4つの基本理念に基づき、まちづくりを推進していきます。この認識の下、具体的な土地利用、市街地整備の方針を取りまとめ、県民の意見を十分にお聞きしながら、都市計画のマスタープランを改定していきます。

## 病児保育について

Q. 県内における病児保育の現状に対する認識を伺うとともに、受け入れ枠拡大など、子育て環境の充実に向けた今後の方針について、鷺頭副知事に所見を伺います。

### A 鷺頭副知事

本県の病児保育は、児童1人当たりの定員数は東京都の約3倍、病児保育を実施する医療機関の割合も全国上位で、第2子以降の利用料金の無償化や、市町を超えて利用可能としている点も全国的には先進的でございます。

しかし、インフルエンザの流行期には満員となることも多く、今年度は各施設の空き状況をあらかじめ確認できるシステムを導入する予定です。子どもの看護休暇の制度が整備されている企業の割合は全国より低い状況ですので、企業や経済団体などに積極的に働きかけをしたいと考えております。

## 教育DXの推進について

Q. タブレット端末の導入後、市町に対応を任せることなく、県が主体的に通信環境やタブレットに対応した機の整備など、ICTに適した学校内の環境整備を進めていくべきだと考えますが、教育長の所見を伺います。

### A 教育長

タブレットの活用に伴う問題は、小中学校だけではなく県立高校においても共通の課題です。Wi-Fi環境については、現在県立6校においてアクセス集中対策装置の試験導入を行い、成果を検証しております。機の整備については、タブレットを使用しやすい大きい机や天板拡張を、あわら市や敦賀市などが先進的に導入しております。県と市町による県学校教育DX推進協議会において、これらの取組や効果を情報共有し、児童生徒が安心して学ぶことができる環境づくりを進めてまいります。

## 県立高校における専門学科のカリキュラムについて

Q. より現場における実習や体験を重視した専門カリキュラムに見直すなど、卒業後の進路選択において農業や建設業に関わる人材を増やしていくための対応策について、教育長の所見を伺います。

### A 教育長

農業や建設業を学ぶ職業系高校においては、実習というカリキュラムの中で、実際の現場を体験しております。武生商工高校では、南越前町の災害復旧工事現場でドローンによる3DスキャンやICT技術を搭載した重機などを見学しております。また、福井農林高校では、あわら市の農園「エコフィールドとみつ」でさつまいもの植付けや収穫などの体験を行っております。今後も業界の協力を得ながら、生徒が実務を体験できる多くの機会を設け、地域の人材育成に努めてまいります。

## 信号機のない横断歩道での一時停止率について

Q. 県警察として、県民や県外からの来県者の安全・安心を守るため、信号機のない横断歩道での車の一時停止率の向上にどのように取り組んでいくのか、所見を伺います。

### A 警察本部長

JAFの全国調査によれば、一時停止率は全国的に上昇傾向ですが、県内の停止率は全国平均より下回る結果となっております。県警察としては、今回の調査結果を真摯に受け止め、新たに重点横断歩道として32か所を選定して取締りを強化し、関係機関・団体と連携した啓発活動等を展開するなど、より一層、横断歩行者妨害等違反の交通指導取締りの強化、交通安全教育や広報活動に取り組んでまいります。



普段どういう活動をしているの？

# 笹原修之の活動報告

【2023.10▶12】抜粋

詳細は  
facebookを  
ご覧ください。



北陸新幹線芦原温泉駅入線歓迎セレモニー



越前あわらブランドa東京PRin渋谷



全国麺類飲食業者福井大会



細呂木ふれあい祭



子育て世代との意見交換



吉野瀬川ダム定礎式



全国産業教育フェア福井大会を視察



中部縦貫自動車道(勝原~九頭竜IC間)開通式



あわら市商工フェスタ



国営土地改良事業坂井北部地区推進協議会設立総会



波松海岸清掃に参加



森林・林業・木材産業活性化大会



北陸新幹線整備促進決起大会



福井暮らしはたらくサポートセンターを視察



カルティブ291(南青山)を視察



全国育樹祭いばらき大会



秋田木質バイオマス発電を視察



福井県内水面漁業協同組合連合会との意見交換会



あわら・坂井合同学祭にて高校生と対談



剣岳かりんて祭



国民参加の森林づくりシンポジウム



あわら市防犯隊年末特別警戒を激励



あわら市観光まちづくりビジョンワークショップ



あわら男女共同参画のつどい

県政についてのご意見・ご要望をお聞かせください!!

明るい未来を目指して。福井新・時代

## 福井県議会議員 笹原修之

笹原修之 検索

【事務所】〒919-0632 福井県あわら市春宮三丁目19-15 (ハロープリント内)  
TEL 0776-73-4513 / FAX 0776-73-1036 E-mail:sasahara@helloprint.co.jp

日々の活動を随時更新中!

facebook

ホームページ

